

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

115

団体事務運営委託事業（高齢者・地域福祉課）

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	9	将来に向かって希望の持てる福祉社会の形成
施策	1	地域福祉の推進
取組方針	2	地域福祉を推進する体制の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	民生費		
	項	社会福祉費		
	目	社会福祉総務費		
	大事業	社会福祉総務事業		
中事業	団体事務運営委託事業（高齢者・地域福祉課）			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	平成21年度	～	無し	担当課・担当課長・Tel	高齢者・地域福祉課	嶋山 秀人 435-1063
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	各種団体が事務を円滑に進められるよう、事務を委託する。		社会福祉法人和歌山市社会福祉協議会に対して、各種団体の事務を委託する。			
事業内容	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	
	和歌山市民生委員・児童委員協議会、和歌山市共同募金会、日赤和歌山市地区、和歌山市遺族連合会、和歌山市戦災遺族会及び和歌山市老人クラブ連合会に関する事務を委託した。	和歌山市民生委員・児童委員協議会、和歌山市共同募金会、日赤和歌山市地区、和歌山市遺族連合会、和歌山市戦災遺族会及び和歌山市老人クラブ連合会に関する事務を委託した。	和歌山市民生委員・児童委員協議会、和歌山市共同募金会、日赤和歌山市地区、和歌山市遺族連合会、和歌山市戦災遺族会及び和歌山市老人クラブ連合会に関する事務を委託した。	和歌山市民生委員・児童委員協議会、和歌山市共同募金会、日赤和歌山市地区、和歌山市遺族連合会、和歌山市戦災遺族会及び和歌山市老人クラブ連合会に関する事務を委託する。	和歌山市民生委員・児童委員協議会、和歌山市共同募金会、日赤和歌山市地区、和歌山市遺族連合会、和歌山市戦災遺族会及び和歌山市老人クラブ連合会に関する事務を委託する。	和歌山市民生委員・児童委員協議会、和歌山市共同募金会、日赤和歌山市地区、和歌山市遺族連合会、和歌山市戦災遺族会及び和歌山市老人クラブ連合会に関する事務を委託する。

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	23,105	22,482	25,519	24,439	27,474	26,478	27,676	0	27,676	0
伸び率（%）	6.6%	8.2%	10.4%	8.7%	7.7%	8.3%	0.7%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,519	1,519	1,289	1,289	1,274	1,274	1,513	0	1,513
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1,519	1,519	1,289	1,289	1,274	1,274	1,513	0	1,513
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）	23,105	22,482	25,519	24,439	27,474	26,478	27,676	0	27,676	0
所要人数 （人）	正規職員	0.19	0.19	0.16	0.16	0.16	0.16	0.19	0.00	0.19
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	委託料 27,474千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
委託事業数		件	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	6	6	6	6	6
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
委託先に関するクレーム件数		件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき		他の主体との協働も可能	○ 市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	団体事務を委託することで市の人件費等経費削減になっているため。
見直し・改善内容	特に改善点なし。